

第8回佐波川かわまちづくり協議会議事録

日 時 平成30年2月5日(月)14:00～15:30

場 所 市役所1号館3階南北会議室

《出席委員》

会 長 (松崎地域自治会連合会会長)	土 井 章
副会長 (右田地域自治会連合会会長)	河 村 均
佐波地域自治会連合会会長	中 林 堅 造
玉祖地域自治会連合会会長	内 田 元 夫
右田地域青少年育成連絡協議会会長	伊 藤 賢 治
佐波地域青少年育成連絡協議会会長	雪 村 和 史
華城地区青少年育成連絡協議会会長	和 田 雅 夫
佐波川に学ぶ会	吉 松 忠 直
水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊	今 井 くに子
防府市立右田中学校校長	岡 本 昭 彦
防府土地改良区	屬 宣 義
佐波川漁業協同組合	清 水 玉 夫
防府市民	田 村 栄 良
防府市民	藤 井 康 太 郎

《欠席委員》

華城地域自治会連合会会長	原 田 義 久
松崎地区青少年育成連絡協議会会長	河 杉 憲 二
ホテルの夕べ実行委員会	中 司 達 美
防府市民	浅 井 典 子
防府市民	田 中 里 美

市長 松 浦 正 人

土木都市建設部長 友 廣 和 幸

土木都市建設部次長 佐 甲 裕 史

土木都市建設部次長 伊 崎 知 行

事務局 河川港湾課

藤本課長、武村課長補佐、本田技術補佐、

山久係長、西崎主任、伊藤主任

総合政策課、おもてなし観光課、文化財課

国土交通省

傍 聴 人 1名

協議会概要

会長

ありがとうございました。

ただいま、事務局より「現在の整備状況、来年度事業について」説明がありました。事前に資料が送られてきていたので、あらかじめ勉強されていらっしゃるかと思います。

皆様方の方から、事務局の説明につきましてご質問・ご意見をいただければありがたいと思います。どなたからでも結構ですので、挙手をしてお願いを致します。

A委員

今工事中の右岸のトイレについてですが、排水の配管がずっと続いており、福祉センターとハウスの間の塀の下を通して配管してあります。その塀の下あたりが、両側とも土砂が少しくぼんでおります。もう少し土砂を入れていただいたらと思います。福祉センターの方側もくぼんでおりますし、ハウスの方側も桜の木のすぐそばが土砂がちょっとへこんでおります。お願いいたします。

会長

事務局の方からありますか。

事務局

はい。今の右田福祉センターのところのトイレの方ですが、A委員がおっしゃったとおり、塀の下のところを配管させていただいて、公共下水道の方につないでおります。

今まだ工事中でございますので、現場の方を確認させていただいて、くぼんでいる所、危ないような所は土砂を入れて安全の方に配慮した形で進めていきたいと思っておりますので、ご了承ください。

会長

他にございませんか。

B委員

資料の15ページですが、迫戸川沿いのフェンスの設置と道路整備ということで計画がされているんですが、前回か前々回でしたか、このフェンスの件について申し上げたんですけど、それについては決定事項ですので、あまり申し上げません。ですが、これをやるとまあ、道路がきれいになっただけだよねっという受け止め方が大半だろうと思います。けれども、変な例を取ると申し訳ないんですけども、山口市の大内南小学校ですが、農業技術センターの交差点の所から白いフェンスが学校の方までございまして、その間にチューリップが咲いていたり、魚が泳いでいたり、カブトムシがいたり、子どもさんが歩いて興味を持てるような景観にされています。

それで、迫戸川沿いのフェンスに、佐波川に生息している魚なり生物なり、この情報については、A委員も十分お持ちだろうし、プレートか何かを設置するような形にして、せつかくここまで整備されるんですから、子どもさんと一緒に歩いておられる親御さんが、こういうのもいるんだよと説明しながら歩けるのはどうかと。それと、付けたら付けっぱなしというのがよくあるんですが、何枚か用意して年に1回か2回か、申し訳ないけど地区の自治会なりなんなりの方にお願いをして、交換作業をやっていただくという形にすれば、例えば子どもさんと散歩をしていて、佐波川の方まで行ってみようということになるよ

うな、有効なスペースになるんじゃないかと思います。本来ならば、前回の時に申し上げるべきだったかもしれないんですけど、資料をいただきまして、そんなことを考えまして、今後の検討課題ということで、できることであればやっていただきたいと思います。

会長

ちょっとお尋ねですけれども、大内南小学校のところの絵は、この15ページの柵でいうと、縦の柵が少し板状になっていて、それにペンキが塗ってあって、ずっと歩いていったらだんだん淡く見えてくるというような形ですよ。今交換っておっしゃいましたから、絵の板を交換するような形かなと。そうすると、大内南小学校のところの絵とは、変わってくるんじゃないかと思うんですが。

B委員

そういう遊び心があるものがあるといいですよ、という例で挙げさせてもらいましたので。実際には、今このフェンスでああいう状況って作りづらいと思うんですよ。だから、間にそういうプレートを、それも一年中同じものを掲げておきますと、歩く人も飽きてしまうというのと、防府市にはよくある例なんですけど、やりっ放しで傷んでもそのままになっているということになりかねないので、できれば何枚かそういうものを作っていただいて、年に1回くらい交換をしていただくということを考えました。交換作業ですから、どうしても市の方で、というのであれば地元の方をお願いして、やっていただけるということでやれば、散歩等をされていて、内容が変わるということで興味を持たれると思います。有効にこの道を使っただいて、佐波川を含む川というものに親しんでいただけるんじゃないかなということを考えました。ご提案申し上げます。

会長

今大変建設的な御意見で、ああそうだなあという風に思いました。15ページの柵ですと、単純な柵なんで、あまり面白みがないなということです。せっかく佐波川をイメージするならば、パネルのような形のものがいいのかもしれませんが、写真をパネルにする形で掲げて、こういう魚が、迫戸川にはいないかも分かりませんが、佐波川にはこういう魚・亀がいるよというパネルをかけるということです。先ほどおっしゃった、大内南小学校のような、縦の柵が少し幅が広くてだんだん歩いて行ったら魚の絵が見えるというのもあります。ちょうど鉄道高架の下の自転車置き場の所に、自転車の絵が映ったりしますが、ああいう感じのものだと思います。どういうものにするかは、またお互いが知恵を出していけばいいと思うんですが、こういう単純な柵ではなくて、佐波川の生物かなにかを表示できれば、子どもの勉強にもなるし、同じ歩くにしても楽しみが増えるんじゃないかというご提案ですが、事務局はそういうことを考えていただけるのか、どうでしょうか。

事務局

はい。今のご質問にお答えいたします。この防護柵の形は、景観に配慮した防護柵を使用する予定です。今、B委員の方からご提案がありました件につきまして、何かしら良いヒントがいただけたという風に受け取っております。プレート等、例えば支柱に佐波川に生息する生物や魚の紹介など、アクセントに

なりそうなもの、佐波川に親しんでいただくためにどういったことができるのか、ちょっと今言葉ではうまく表せないんですが、何か考えてみたいと思います。次回の協議会、あるいは来年度の発注をする前の段階で、皆さんに資料を提示して、紹介させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

会長 事務局の方で、事業着手までに検討して、皆さんにご提示するというごことですので、それでよろしいでしょうか。他にございませんか。

C委員 ちょっとお聞きしたいんですが、14ページのアルキメデスのポンプについて、こういうのは非常に良い発想だと思います。一番下の水路に流れている所から、螺旋状に上がって一番上の方に水を運んでそれを水車の方に伸ばすということですが、小学生などが、これでどうして下から上に水が上がっていくんだろうかと考えて、理科の力がつくと思います。

1つ聞きたいんですが、水流が少ない時にらせん状に上がる時にどういう原理で上がりますか？札幌の方にそういう施設が確かあったと思いますが。

事務局 このアルキメデスポンプは動力は手、人力です。設置した例がこの辺りでどこにあるかは分からないんですが一番近いところと言うと、徳山高専のロータリーの所にあります。そこは、太陽光発電の力を利用して、自動で回るような仕組みで水循環をするシステムになっているんですけども、人間の手でやるようなものを考えています。

C委員 小学生あるいは中学生には、非常に良い発想というか、あれはどうして上がるんだろうと考えることは、佐波小・佐波中あるいは右田小・右田中も近いですし、非常に発想する力が出ると思います。小学生が自由に動かして上がる、というのも良いですが、太陽光エネルギーを動力源として、いつもずっと回るようにするというのは考えておられないのでしょうか？

事務局 今現在は人力を考えているんですが、これは変更し、将来的にはそういったことで行うことも可能です。とりあえず今考えているのは人力でなんとかやっけていきたいなと考えています。人間が回すと上がる、そういう体験をしてもらえた方が、子どもたちには良いのかなと感じています。

C委員 良いですね。理科の勉強になると思います。ありがとうございました。

会長 写真のアルキメデスポンプというのは、結構重量もあるようですが、子どもの力で回るくらい軽いんですか。

事務局 写真は、例として挙げさせていただいています。もう少しコンパクトなもので、もう少し軽く回るタイプのものを考えていますので、大丈夫だと思います。

会長 委員さんの方から太陽光発電というお話もありましたが、水の中にプロペラを浸けると水流で回って、そのまま水が上がるのではないかという気がするんですが。

事務局 水流が多い時には回ります。

会長 いや、水流が少なくても、水が干された状態でなければ、水が流れていればプロペラ、スクリューが回るのではないか、太陽光発電でお金を使わなくても良いのではないか、という感じがしないでもないんですが、研究してみてください

さい。他にございませんか。

D委員

15ページの絵と12ページの写真ですが、私もよくこの道は利用するんですが、多分今川沿いまで舗装はしてある気がするんですが、内幅にフェンスを付けられると、若干狭く感じるんだらうなと思いますし、車が結構使われるようなことになるのかどうかということと、子どもが水浴びをする12ページの写真なんですが、水量が少なければ車が通って危ない時に、川に飛び込むというか、逃げ込む場所になるような気がします。水量があれば、フェンスがあった方がいいというところもあるんですが、歩くところの安全性というところも、気を使っていただければいいのかなと思いました。多分一方通行になっていると思いますが・・・

会長

ちょっと説明をいたしますと、歩道はないですが、あまり立派でなく低いですが、今も柵はあるんです。川沿いの方が歩行者用の道路です。天満宮の裏に降りるところと、渡辺養魚場の間だけが朝一方通行になっていて、天満宮からおりた所から佐波中学校に向かう所は一方通行ではないんです。だから、お互いが譲り合わなければ交差できないという状態にはなっています。ただ、柵は今もあります。

D委員

私も何回か通っています。子どもさんが通るところというのを含めて、道幅のところは不安ではありますが、気をつけていただけたらと、よろしくお願ひします。

会長

ちょっとお尋ねしますが、川の兩岸の壁は強いですか？この道路のあちこちが陥没する傾向にあります。泥というか、砂が川に取られているんじゃないか。川の擁壁から水が出るか入るかしているのではないかと思うんですが。道に、時々ぽこっと穴が開いていたりするんですよ、特に川沿いの方に。少し気をつけておいてもらいたいと思います。

事務局

15ページの所でいくと、ちょうど柵が立っている側の、車道部分だと思われませんが、古い水路ですので、おそらく一番底の部分もしくはつぎ目の所から、砂が吸い出していたりするのかなと思います。景観の舗装をするようにしておりますので、今現在ある舗装をはぎとったり整備したりする段階で、この辺りは注意して見てみたいと思います。

会長

よろしくお願ひします。それでは、他に。

E委員

4ページの平成29年度の黄色くしてある部分ですね。多目的広場・駐車場というのがありますが、現在上の土手から車で降りられるように、工事が完了していますが、この多目的広場の利用用途ならびにどういう風に保護するかをお聞きしたい。先般右田地区の地区懇談会で、ここに広場があるので、右田の方はそれを多目的広場として使ったらどうかという話もありました。利用方法、運営方法、メンテナンス等、それをきちっとやっていただかないと、できたのは良いけれどもお金は使わないとか、知らないとか、そういう風になりかねないので、そここのところを教えてください。

事務局

ページ数は違いますが、9ページをご覧いただけたらと思います。パース図

が左側の方にあります。ここの多目的広場と駐車場につきましては、過年度の協議会におきましても何度かご説明はさせていただきました。

今のところキャンプサイトみたいな形で、車がランダムにといいですか、20台くらい置けるように考えておりまして、そこに車を置いて、キャンプするもよし、水遊びするもよし、下流側は少し大きな広場で、使い方は自由なんです。芝生広場にしようと考えております。ここの利用形態については、特段これをやってはいけないというのはないので、自由に使っていただけたらと考えています。それともうひとつ下流の駐車場、9ページでいうと左下のところにパース図がございますが、こちらの方はじゃぶじゃぶ池が近くにございましてそちらの方の向上のために整備する形とさせていただいております。こちらの駐車場と両方合わせて使っていただこうと考えていますが、運営方法につきましては、最初の方に皆さんにお話させていただいたように、一応ここは市の方と右田地区、近くの自治会の方に手助けしていただいて一緒になって、芝生の管理等、そういう運営にしていきたいと考えております。

E委員

ということは、今から協議に入るといことですか。私は聞いていないから。市長が地区懇談会で言われた時に、ここに場所、広場があるんで右田の要望の多目的広場というのをここにしたらどうか、という話があったんですよ。いわゆる子どもたちが放課後に家に帰って、サッカーをしたり野球をしたり、そういう広場がないですから、そういう要望を出したんですが、ここを整備しているから、ここを使ったらどうかと。あと運営上の問題については、地元とよく協議をしてもらいたいと思います。

会長

他にございませんか。

F委員

今の場所ですが、この例でいうと、きれいに護岸に降りられるような絵になっていますが、今現在多目的広場に降りられないんですね。ああいう風に、下に降りて水遊びをすることが可能ではないので、ああいう風になると嬉しいので、ぜひ実現していただきたいと思います。今は草とかが生えていて見えないような状態なので。降りられるようになると、子どもたちも遊びやすくなると思います。本線に出ると危ないので、よろしく願います。あと、17ページの来年度周辺マップ作成というのがありますが、ぜひこれは実行委員にも声をかけていただいて、一緒にできたらいいなと思います。どういう風な形で、誰を対象に行われるかわかりませんが、お声がけいただくと嬉しいなと思います。よろしく願います。

会長

1点目は、今は草がいっぱい生えて降りられないから、9ページの左下の絵のように、川に降りられるようにしてほしいということですので、ぜひ検討してほしいと。ワークショップについては、子どもたちが喜ぶような形にしてほしいと。児童・生徒もワークショップに参画できるような形で、みんなが喜ぶようなものにしてほしいです。他にございませんか。

なければ次に行く前に、ご披露しておきます。8ページに遊々かわフェスタが載っていますが、今年で2回目になります。事務局からありましたように、

3500人に来ていただいて、大変良かったなあと思います。隣りにいらっしゃる河村副会長が実行委員長でございまして、実際に会場に行かれた方はご存知だと思いますが、下のヤギの写真は、この日会場で生まれたヤギです。動物の生命力はすごいなあという気持ちがしています。それともう1点は、市広報の表紙に橋がかかっていますが、この橋は平成29年度に藤本工業さんに発注したのですが、藤本工業さんの社会貢献ということで、費用は無料で施工していただきました。ご協力に大変感謝しておりまして、ここでご披露させていただきます。

それでは、次の議事に移りたいと思います。

事務局

それでは、その他事項としまして「第7回協議会でのご意見」について説明いたします。スクリーン、および、お手元の「資料-2」をご覧ください。

2ページをごらんください。第7回協議会で、いただきましたご意見はごらんとおりとなります。それでは、一つ一つ確認して行きたいと思います。

3ページをごらんください。佐波川護岸の鮎のモニュメントについて現地を確認したところ、1区画で鮎を確認できましたが、その他の区画では確認できませんでした。国土交通省さんに平成元年と平成2年の工事後の写真を頂いたんですが、本橋から新橋までの左岸側の区画、本橋から上流の区画で鮎のモニュメントが施工されていました。

次のページになりますが、遊々かわフェスタ‘17の準備で、高圧洗浄により護岸表面の汚れを落としてみると、上流側はなんとなく現れました。下流側のブロックと色の濃さが違うようで、よくみないとわからない状態でした。これからの対応としまして、色を塗ったりすることが可能か等を国土交通省と協議を進めていこうと考えております。

次に、「円筒分水工に鯉を入れること」について説明いたします。市内全域に用水を分配する円筒分水工に鯉を移動して、現在はほぼ終息しているコイヘルペスウィルスが、もし、まん延するようなことが起これば問題となるので、円筒分水工に鯉を放流はしないほうがいいと考えております。

次に「円筒分水工のニックネーム」について説明いたします。資料-1で説明いたしました、「周辺マップ作成」でワークショップを開催します。このワークショップの場で良いニックネームがないか問いかけてみようと考えております。

次に「シバザクラのPR」について説明いたします。シバザクラの植栽は平成29年度で完了します。昨年の4月には4区画で咲き、テレビで放映、新聞に掲載され多くの市民がシバザクラを見に来られました。シバザクラのPRにつきましては、市のホームページ、フェイスブック等で、場所や例年の開花時期等について掲載していくよう検討していきます。

以上で、「第7回協議会でのご意見について」の説明を終わります。

会長

ありがとうございました。

前回の協議会で意見を頂戴したところ、今の鮎の絵が薄くなっているとか、

円筒分水工に鯉を放流したらどうかとか、あるいはニックネームをつけたり、シバザクラで文字を入れたりしたらどうかとか、意見をいただきました。その時にも、佐波川漁協の清水組合長さんからコイヘルペスがあるからまずいと、その時のご意見はいただきました。この4項目について、事務局で検討された結果をご披露していただいたわけですが、このことについて、例えばモニュメントに色を塗った方がいいのではないかと、ペンキは剥げるし大変だからいいよとか、どんな意見でも結構です。ただ、シバザクラについては平成29年度で事業は終わってしまっていて、来年の春先には、この「幸せます ほうふ」という字が見事に浮き上がってくるのではなからうかと期待しております。

B委員

まず護岸ブロックの件ですが、今年の遊々かわフェスタでちらっと私が実行委員会の方で言った意見ですが、あのまま置いておいても仕方ないと思います。遊々かわフェスタは校区外のところが多いので、子どもさんに親御さんと一緒に来てもらうということを考えると、色塗りのコンテストか何かを遊々かわフェスタの日にやってはどうでしょうか。色がはげたら、またやると。子どもさんの発想で色をつけてもらうと、上のピンクのシバザクラとマッチして、見所になるのではないかと考えています。

それとシバザクラですが、私も実は見に行きましたが、非常に素晴らしい景色が見られて良かったのですが、下に臨時のベンチでもついていけば、ゆっくりシバザクラを見ながら、お昼でも食べられるのかなあということを考えました。上から見る、対岸から見るということではなくて、下から見るということです。今真ん中の写真があります。「幸せます ほうふ」の上に桜が咲いていて、これは非常に良い景色です。昔は新橋の左岸に桜の木がずっと植えてありました。仮設で結構ですので、ちょっとご飯でも食べられる場所があればいいなと感じましたので、提案させていただきます。それと円筒分水工ですが、これは鯉を入れるとコイヘルペスという問題があるということですが、もともとこの発想はライトアップをする時に、何か映えるものはないかということ、出たのではないかと思います。円筒分水工はもともと地味なものですので。車で横を通るんですが、あまりお金をかけずに、光が当たるとピカピカする材質のものにするのも1つの方法かなと。もちろん、下の方まで全部やらずに上の方だけでいいかと思います。

会長

今ありましたお話としては、イベントに合わせて、子どもたちに護岸ブロックの色塗りをさせるとか、あるいは、円筒分水工はあまり見栄えが良くないから、蛍光塗料を塗るなりすると面白いかもしれないねということでした。これについて、事務局の方意見があればお願いします。

事務局

ブロックのところの色が濃い鮎、薄い鮎について、イベントの時に色を塗ってはどうかということですが、これは1つの案として、国土交通省さんと協議をしながら進めていきたいなと思っています。

それとシバザクラのところ、下から見えるように何かしらベンチをとということでしたが、4ページの資料をご覧くださいなんですが、ストリートファ

ニチャーという青い三角がございます。ストリートファニチャーというのはベンチを想定しておりまして、シバザクラを植樹する本橋から下流、新橋までの間に4つほど、今年度施工する予定としております。

最後、円筒分水工のライトアップなんですけど、夜光塗料等を塗るなりして、別の色合いでアピールしてはどうかということでした。29年度は現在のような形で整備させていただいており、ライトアップは夏と冬で時間と色を変えてアピールさせていただいています。そういった表現方法を変えていくか、また持ち主が土地改良区さんになっていきますので、夜光塗料を塗るかといった件に関しても、土地改良区さんと話をしながら、方法を考えていきたいと思っています。

会長 Gさんの方から何かありますか。

G委員 今回の配管にビニールテープを巻いてみてはどうですか。今のコンクリートはもう老朽化してますから。

会長 今回のGさんのほうから、コンクリートは劣化が進んでいるので、蛍光塗料を塗るために汚れをとろうとしたら、もうそのコンクリートそのものの耐久度がなくなってしまうかもしれない。だから配管パイプに蛍光テープなどを巻いてみたらという提言でした。

それと6ページの下の方の写真を見ているんですが、「幸せます ほうふ」の字の上に桜の木ってありましたかね。

事務局 ちょっと合成しております。今の本橋の左岸側のところにトイレがございまして、そこから約150メートルくらい桜づつみがあります。そこに30~40本くらい桜があります。

会長 「幸せます ほうふ」はそこより下流ですよ。

事務局 そうですね。

会長 他にご意見ございますか。よろしゅうございますか。

岸壁のブロックの鮎は本橋の下流は見えるんですが、上流のほうはよほど目をこらして見ないと見えない。遊々かわフェスタも上流のほうでやりますので、お金をかけずに、子どもが喜ぶような形でできるのかどうか、検討してもらえるとありがたいと思います。

他になれば事務局の方に返したいと思います。

では、今日の提出議題につきましては全てご意見をいただいたということで、今日いただいたご意見の中にできるもの・できないものがあると思いますが、検討研究をしていただいてより親しまれる佐波川に成長していくとありがたいなあと思います。

それではありがとうございました。事務局の方へマイクを返しますのでよろしくをお願いします。

事務局 土井会長、進行をありがとうございました。また、委員の皆様、熱心なご討議ありがとうございました。今回は、「現在の整備状況、来年度事業について」、「第7回協議会でのご意見について」について説明させていただき、また、貴

重な意見を頂くこともできました。今回いただいた意見をもとに、より良い「かわまちづくり」計画にしていきたいと思います。

それでは、最後に、土木都市建設部長の友廣が、閉会のご挨拶を申し上げます。

部長

閉会に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。委員の皆様方には、お寒い中、また大変お忙しい中ご協議いただきまして、まことにありがとうございました。委員の皆様から、貴重な意見を頂戴し、改めて感謝申し上げる次第です。

本日、ご協議いただきました内容につきまして、頂いたご意見を参考に、今後の「かわまちづくり」計画をすすめてまいります。来年度には、いよいよ「新橋地区」の整備が完了いたします。その後「華城・玉祖地区」の整備をはじめることとなります。

「佐波川かわまちづくり」をよりよいものにし、佐波川を市民が誇れる、憩いの場にしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

以上で、閉会にあたり私からのあいさつとさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

事務局

委員の皆様におかれましては、協議会への参画、誠にありがとうございました。以上をもちまして、第8回佐波川かわまちづくり協議会を終わらせていただきます。